



古民家を「暮らしの保健室」に

【四日市】古民家を改修して「暮らしの保健室」として、四日市市東区東田の古民家を改修した「暮らしの保健室」が九月十一日オープンする。介護や認知症、健康増進などの課題に対応し、地域の交流拠点を目指す。八月末には、改修費用をクラウドファンディング（ＣＦ）で募っていた。

あした葉は、医療福祉活動で二十二年間活動した福祉活動家。古民家を改修し、高齢者の「暮らしの保健室」を三月に完成させた。活動を通じて、理事の伊世「地域の人が気軽に訪ねてきて、利手のある人は、介護施設で過ごすよりも、古民家にいて、



古民家を改修して「暮らしの保健室」として、四日市市東区東田の古民家を改修した「暮らしの保健室」が九月十一日オープンする。

介護や認知症などの課題に対応し、地域の交流拠点を目指す。八月末には、改修費用をクラウドファンディング（ＣＦ）で募っていた。

あした葉は、医療福祉活動で二十二年間活動した福祉活動家。古民家を改修し、高齢者の「暮らしの保健室」を三月に完成させた。活動を通じて、理事の伊世「地域の人が気軽に訪ねてきて、利手のある人は、介護施設で過ごすよりも、古民家にいて、

あした葉は、医療福祉活動で二十二年間活動した福祉活動家。古民家を改修し、高齢者の「暮らしの保健室」を三月に完成させた。活動を通じて、理事の伊世「地域の人が気軽に訪ねてきて、利手のある人は、介護施設で過ごすよりも、古民家にいて、



「あした葉」改修費をCFで募集

介護や認知症などの課題に対応し、地域の交流拠点を目指す。八月末には、改修費用をクラウドファンディング（ＣＦ）で募っていた。

あした葉は、医療福祉活動で二十二年間活動した福祉活動家。古民家を改修し、高齢者の「暮らしの保健室」を三月に完成させた。活動を通じて、理事の伊世「地域の人が気軽に訪ねてきて、利手のある人は、介護施設で過ごすよりも、古民家にいて、

あした葉は、医療福祉活動で二十二年間活動した福祉活動家。古民家を改修し、高齢者の「暮らしの保健室」を三月に完成させた。活動を通じて、理事の伊世「地域の人が気軽に訪ねてきて、利手のある人は、介護施設で過ごすよりも、古民家にいて、

あした葉は、医療福祉活動で二十二年間活動した福祉活動家。古民家を改修し、高齢者の「暮らしの保健室」を三月に完成させた。活動を通じて、理事の伊世「地域の人が気軽に訪ねてきて、利手のある人は、介護施設で過ごすよりも、古民家にいて、